

[平成21年度設置]

大学番号:私 578

計画の区分:学部の学科の設置

届出

熊本学園大学社会福祉学部第一部ライフ・ウェルネス学科
【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 熊本学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教務課

職名・氏名 教務課長 マツグマ ヒデアキ
松隈 英明

電話番号 096-364-5161

(夜間) 096-364-5161

F A X 096-362-9025

e-mail matuguma@kumagaku.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合:「〇〇大学 〇〇学部」
・学部の学科の設置の場合:「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
・短期大学の学科の設置の場合:「〇〇短期大学 〇〇学科」
・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況、経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 熊本学園

(2) 大学名

熊本学園大学

(3) 大学の位置

〒862-8680

熊本県熊本市中央区大江二丁目5番1号

熊本県熊本市大江二丁目5番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(キタコガ カツユキ) 北古賀 勝幸 (平成4年12月)	(イワノ シゲミチ) 岩野 茂道 (平成22年8月)	役員改選に伴う変更 平成22年8月2日(23)
学長	(サカモト タダシ) 坂本 正 (平成14年8月)	(オカモト トクヤ) 岡本 恵也 (平成22年8月)	任期満了に伴う変更 平成22年8月1日(23)
学部長	(ナカノ ハジメ) 中野 元 (平成18年1月)	(コイズミ ナオキ) 小泉 尚樹 (平成22年1月)	任期満了に伴う変更 平成22年1月1日(22)
学科長	(コイズミ ナオキ) 小泉 尚樹 (平成21年4月)	(ミヤバヤシ タツヤ) 宮林 達也 (平成22年1月)	任期満了に伴う変更 平成22年1月1日(22)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成21年度に報告済の内容 (21)

平成24年度に報告する内容 (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
- ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科 学士(社会福祉学)	年 4	人 80	年次 人 -	人 320	

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季 入 学	その他 の学期	春季 入 学	その他 の学期	春季 入 学	その他 の学期	春季 入 学	その他 の学期		
A 入学定員	80人 (-) []	人	80人 (-) []	人	80人 (-) []	人	80人 (-) []	人	1.15 倍	
志願者数	93 (-) [-]	- (-) [-]	229 (-) [-]	- (-) [-]	167 (-) [-]	- (-) [-]	144 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	87 (-) [-]	- (-) [-]	229 (-) [-]	- (-) [-]	167 (-) [-]	- (-) [-]	143 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	86 (-) [-]	- (-) [-]	144 (-) [-]	- (-) [-]	114 (-) [-]	- (-) [-]	116 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	79 (-) [-]	- (-) [-]	122 (-) [-]	- (-) [-]	95 (-) [-]	- (-) [-]	90 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.98		(-) 1.52		(-) 1.18		(-) 1.12			

(注)・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		備 考
	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	
1 年次	[-] 7 9	[-] -	[-] 1 2 2 — 7 8	[-] -	[-] 9 5	[-] -	[-] 9 0	[-] -	平成 22 年度春季 入学 誤謬修正 (23) [-]
2 年次	/		[-] 7 8 — 1 2 2	[-] -	[-] 1 2 0	[-] -	[-] 9 3	[-] -	
3 年次	/		/		[-] 7 4	[-] -	[-] 1 1 5	[-] -	
4 年次	/		/		/		[-] 7 1	[-] -	
計	[-] 7 9	[-]	[-] 2 0 0	[-]	[-] 2 8 9	[-]	[-] 3 6 9	[-]	

(注)・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	79 人	6 人	平成21年度	1 人	0 人	学力不足	7.6 %
			平成22年度	2 人	0 人	就職 1 名、除籍 1 名	
			平成23年度	3 人	0 人	進路変更 1 名 本学他学科への転学 1 名 家庭の事情 1 名	
			平成24年度	0 人	0 人		
平成22年度 入学者	122 人	9 人	平成22年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学3名 家庭の事情1名	7.4 %
			平成23年度	5 人	0 人	就職 1 名、家庭の事情 2 名 進路変更 1 名、除籍 1 名	
			平成24年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	95 人	2 人	平成23年度	2 人	0 人	家庭の事情 1 名 就学意欲の低下 1 名	2.1 %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	90 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
合 計	386 人	17 人					4.4 %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
 ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他

2 授業科目の概要

< 社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
A (第一)群 ライフ・ウェルネス専門科目	基礎演習	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1			7 6	1	2 1	1		平成24年4月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 教育効果充実のため開講時期を変更(23) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ライフ・ウェルネス入門	1・2・3・4後 1・2・3・4前	2			7 6	1	2 1	1		平成24年4月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 教育効果充実のため開講時期を変更(23) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	社会福祉原論	1・2・3・4前	2								
	社会福祉原論	1・2・3・4後	2								
	ライフ・ウェルネス特講	2・3・4後	2			7 6	1	2 1	1		平成24年4月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	スポーツ・ウェルネス論	2・3・4前	2					1			
	ソーシャルワーク論	2・3・4前	2								
	ソーシャルワーク論	2・3・4後	2								
	ライフ・ウェルネス演習	3・4後	2			7	1	2 1	1		平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ウェルネス・プロモーション論	3・4前	2			1					
	ウェルネス・プロモーション論	3・4後	2			1					
	卒業論文	4通		4		7	1	2 1	1		平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ライフ・ウェルネス演習	4前		2		7	1	2 1	1		平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
A (第一) 群 ライフ・ウェルネス 専門科目	ライフ・ウェルネス演習	4後		2		7	4	2	4	1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	アダプティッド・スポーツ論	1・2・3・4前		2		1	1	1			
	倫理とライフ・ウェルネス	1・2・3・4前		2		1					
	アスリートとウェルネス	1・2・3・4後		2		3 2	4	2	4	1	平成24年4月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	心理学	1・2・3・4前		2							
	心理学	1・2・3・4後		2							
	運動学(運動方法学を含む)	1・2・3・4前		2		1					
	生理学(運動生理学を含む)	1・2・3・4後		2		1					
	衛生学(公衆衛生学を含む)	1・2・3・4前		2							
	医学一般	1・2・3・4前 1・2・3・4休 1・2・3・4前		2							担当者の都合により開講時期を 変更(23) 担当者の都合により開講時期を 変更(22)
	医学一般	1・2・3・4後		2							
	解剖学	1・2・3・4前		2		1					
	ソーシャルワーク方法論	2・3・4前		2							
	ソーシャルワーク方法論	2・3・4後		2							
	社会調査	2・3・4前		2							
	社会調査	2・3・4後		2							
	ヘルスアンドウェルネス	2・3・4前		2							
	生活環境論	2・3・4前		2							
	日本経済とライフ・ウェルネス	2・3・4後		2		1					
	児童福祉論	2・3・4前		2							
	児童福祉論	2・3・4後		2							
	地域福祉論	2・3・4前		2							
	地域福祉論	2・3・4後		2							
高齢者福祉論	2・3・4後		2								
障害児・者福祉論	2・3・4後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
A(第一)群 ライフ・ウェルネス専門科目	公的扶助論	2・3・4前 2・3・4後		2							担当者の都合により開講時期を変更(23) 開講時期を変更していたものを当初計画に戻した(24) 担当者の都合により開講時期を変更(22)
	健康体力づくり論	2・3・4前		2		1					
	スポーツ心理学	2・3・4前 2・3・4前		2			1				
	運動処方	2・3・4後		2		1					
	測定評価	2・3・4後		2							
	ソーシャルワーク方法論	3・4前		2							
	ソーシャルワーク方法論	3・4後		2							
	社会保障論	3・4前		2							
	社会保障論	3・4後		2							
	高齢者福祉論	3・4前		2							
	障害児・者福祉論	3・4前		2							
	医療福祉論	3・4後		2							
	福祉行財政論	3・4前		2							
	福祉管理運営論	3・4後		2							
	司法福祉論	3・4後 3・4前		2							
	権利擁護と成年後見制度	3・4後		2							
	就労支援論	3・4後 3・4前		2							
	水俣学	3・4後		2							
	救急処置と運動負荷試験	3・4後		2							
	栄養学	3・4後		2							
学校保健	3・4前		2								
精神保健学	3・4後		2								
精神保健学	3・4前		2								
A(第二)群 ライフ・ウェルネス関連科目	社会学概論	1・2・3・4前		2							
	社会学概論	1・2・3・4後		2							
	ボランティア論	1・2・3・4後		2							
	レクリエーション概論	1・2・3・4前		2			1				
	経済学	1・2・3・4前		2		1					
	経済学	1・2・3・4後		2							
	法学	1・2・3・4後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
A (第一)群 ライフ・ウェルネス関連科目	ソーシャル・ウェルフェア系科目群	日本国憲法	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2								他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更(21)		
		発達心理学	1・2・3・4前	2										
		統計学	1・2・3・4後	2										
		手話	1・2・3・4前	2										
		手話	1・2・3・4後	2										
		点字	1・2・3・4前	2										
		点字	1・2・3・4後	2										
		情報処理入門	1・2・3・4前	2										
				2・3・4前 2・3・4後										開講時期を変更していたものを 当初計画に戻した(24) 担当者の都合により開講時期を 変更(22)
		日本社会福祉史	2・3・4前	2										
	日本社会福祉史	2・3・4後	2											
	憲法 (統治論)	2・3・4前	2											
	憲法 (人権論)	2・3・4後	2											
	民法	2・3・4前	2											
	民法	2・3・4後	2											
	家族と法	2・3・4前	2											
	障害者と法	2・3・4前 2・3・4後	2								担当者の都合により開講時期を 変更(24)			
	芸術療法入門	2・3・4前	2											
	ハンセン病講義	2・3・4後	2											
	経済原論	2・3・4前	2			1								
	経済原論	2・3・4後	2			1								
	手話	2・3・4前	2											
	手話	2・3・4後	2											
	外書講読	2・3・4前	2			1								
	外書講読	2・3・4後	2			1								
	社会政策	3・4前	2									担当者の都合により開講時期を 変更(24)		
	社会政策	3・4前 3・4後	2											
	現代の福祉国家	3・4後	2											
	市民と政治	3・4後	2											
	現代行政論	3・4後	2											
家族援助論	3・4前	2												

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専 任 教 員 等 の 配 置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
A (第二)群 ライフ・ウェルネス 関連科目	ソーシャル・ウェルフェア系科目群											
	社会福祉法制	3・4前		2								
	社会福祉法制	3・4後		2								
	リハビリテーション論	3・4前		2								
	家族社会学	3・4前		2								
	家族社会学	3・4後		2								
	国際福祉論	3・4前		2								
	地域づくりとバリアフリー	3・4前		2								
	外書講読	3・4前		2		1						
	外書講読	3・4後		2		1						
日本事情特講	3・4後		2									
ウェルネス・プラクティス系科目群												
	スポーツ指導法実習(水泳)	1・2・3・4前 4・2・3・4集	1			3 2 1		2 1		1		平成 24 年 4 月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 平成 23 年 4 月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成 23 年 3 月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成 22 年 4 月 新規採用 石橋剛士(助教)(22) 教育効果充実のため開講時期を変更(22) 履修者増加が予想されるため、 担当教員を追加(21) 担当:宮林達也(教授) 加藤健一(准教授)
	武道指導法実習(柔道)	1・2・3・4前	1			1				1		平成 22 年 4 月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	武道指導法実習(柔道)	1・2・3・4後	1			1				1		平成 22 年 4 月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	スポーツ指導法実習(ダンス)	1・2・3・4前	1									
	スポーツ指導法実習(ダンス)	1・2・3・4後	1									
	スポーツ指導法実習(器械運動)	1・2・3・4前	1									
	スポーツ指導法実習(陸上競技)	1・2・3・4前	1									
	スポーツ指導法実習(陸上競技)	1・2・3・4後	1									
	アダプティッド・スポーツ実技	1・2・3・4後	1			1		2 1		1		教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当:石橋剛士(助教) 平成 23 年 4 月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成 23 年 3 月 辞任 加藤健一(准教授)(23)
	ソーシャルワーク演習	2・3・4前	1						1			
	ソーシャルワーク演習	2・3・4前	1						1			
	ソーシャルワーク演習	2・3・4後	1						1			
	ソーシャルワーク実習指導	2・3・4後	1						1			
	スポーツ指導法実習(バレーボール)	2・3・4後 2・3・4前	1									担当者の都合により開講時期を 変更(22)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
B・C 群等 科目	外国語科目 英語 A	1・2・3・4前		1							
	英語 B	1・2・3・4後		1							
	英語 A	1・2・3・4前		1							
	英語 B	1・2・3・4後		1							
	ドイツ語 A	1・2・3・4前		1							
	ドイツ語 B	1・2・3・4後		1							
	ドイツ語 A	1・2・3・4前		1							
	ドイツ語 B	1・2・3・4後		1							
	フランス語 A	1・2・3・4前		1							
	フランス語 B	1・2・3・4後		1							
	フランス語 A	1・2・3・4前		1							
	フランス語 B	1・2・3・4後		1							
	中国語 A	1・2・3・4前		1							
	中国語 B	1・2・3・4後		1							
	中国語 A	1・2・3・4前		1							
	中国語 B	1・2・3・4後		1							
	ロシア語 A	1・2・3・4前		1							
	ロシア語 B	1・2・3・4後		1							
	ロシア語 A	1・2・3・4前		1							
	ロシア語 B	1・2・3・4後		1							
	スペイン語 A	1・2・3・4前		1							
	スペイン語 B	1・2・3・4後		1							
	スペイン語 A	1・2・3・4前		1							
	スペイン語 B	1・2・3・4後		1							
	韓国語 A	1・2・3・4前		1							
	韓国語 B	1・2・3・4後		1							
	韓国語 A	1・2・3・4前		1							
	韓国語 B	1・2・3・4後		1							
	英語 A	2・3・4前		1							
	英語 B	2・3・4後		1							
英語 A	2・3・4前		1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専 任 教 員 等 の 配 置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
B・C 群等科目 外国語科目	英語 B	2・3・4後		1							
	ドイツ語 A	2・3・4前		1							
	ドイツ語 B	2・3・4後		1							
	ドイツ語 A	2・3・4前		1							
	ドイツ語 B	2・3・4後		1							
	フランス語 A	2・3・4前		1							
	フランス語 B	2・3・4後		1							
	フランス語 A	2・3・4前		1							
	フランス語 B	2・3・4後		1							
	中国語 A	2・3・4前		1							
	中国語 B	2・3・4後		1							
	中国語 A	2・3・4前		1							
	中国語 B	2・3・4後		1							
	ロシア語 A	2・3・4前		1							
	ロシア語 B	2・3・4後		1							
	ロシア語 A	2・3・4前		1							
	ロシア語 B	2・3・4後		1							
	スペイン語 A	2・3・4前		1							
	スペイン語 B	2・3・4後		1							
	スペイン語 A	2・3・4前		1							
スペイン語 B	2・3・4後		1								
韓国語 A	2・3・4前		1								
韓国語 B	2・3・4後		1								
韓国語 A	2・3・4前		1								
韓国語 B	2・3・4後		1								
保健体育	健康科学A（講義）	1・2・3・4前後 4・2・3・4前		2		3 -2	-1	2 -1	1		平成 24 年 4 月 専任教員に就任 橋本公雄（教授）(24) 平成 23 年 4 月 新規採用 藤塚千秋（講師）(23) 平成 23 年 3 月 辞任 加藤健一（准教授）(23) 平成 22 年 4 月 新規採用 石橋剛士（助教）(22) 他学部とのカリキュラム統一の ため、開講時期を追加（21）

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
B・C 群等科目	保健体育 健康科学B (実技)	1・2・3・4前		1		3 2	1	2 1	1		平成24年4月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
		1・2・3・4後		1		3 2	1	2 1	1		平成24年4月 専任教員に就任 橋本公雄(教授)(24) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
留学生 対象科目	日本語 A	1・2・3・4前		1							他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更(22) 他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更(21)
		1・2・3・4後									
	日本語 B	1・2・3・4前		1							
		1・2・3・4後									
	日本語 A	1・2・3・4前		1							
	日本語 B	1・2・3・4後		1							
	日本語 A	2・3・4前		1							
	日本語 B	2・3・4後		1							
	日本語 A	2・3・4前		1							
	日本語 B	2・3・4後		1							
	日本事情 A	1・2・3・4前		2							
	日本事情 B	1・2・3・4後		2		1					
	日本事情 A	1・2・3・4後	1・2・3・4前		2					他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更(22)	
	日本事情 B	1・2・3・4前	1・2・3・4後		2		1			他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更(22)	
日本事情 A	1・2・3・4前		2								
日本事情 B	1・2・3・4後		2								

- (注)・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は設置届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 239	科目 0	科目 250	科目 11 [0]	科目 239 [0]	科目 0 [0]	科目 250 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
	該当なし					

(注)・届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
届出時の計画の授業科目数の計	250		

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 附属中学校設置に伴い大学 運動場を附属中学校校 舎及び運動場敷地に用途 変更したため(23) 合筆登記による誤差のため (平成22年3月19日登記) (22)		
	校舎敷地	51,741.67㎡ 49,395.14㎡	0㎡	0㎡	51,741.67㎡ 49,395.14㎡			
	運動場用地	132,850.98㎡ 141,251.50㎡ 147,789.13㎡	0㎡	0㎡	132,850.98㎡ 141,251.50㎡ 147,789.13㎡			
	小 計	184,592.65㎡ 192,993.17㎡ 197,184.27㎡	0㎡	0㎡	184,592.65㎡ 192,993.17㎡ 197,184.27㎡			
	そ の 他	11,963.00㎡ 9,106.14㎡	0㎡	0㎡	11,963.00㎡ 9,106.14㎡			
	合 計	196,555.65㎡ 204,956.17㎡ 206,290.41㎡	0㎡	0㎡	196,555.65㎡ 204,956.17㎡ 206,290.41㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		65,391.79㎡ (65,391.79㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	65,391.79㎡ (65,391.79㎡)			
(3) 教室等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設	大学全体 講義室・演習室 会計専門職大学院を移転 したため(24) 講義室 教育効果を高めるため既 存の教室の一部を改修し 増設したため(22) 演習室 教育効果を高めるため既 存の教室の一部を改修し 増設したため(22) 情報処理学習施設 情報処理科目の履修者数に 応じて配置するため(24) 情報処理科目の履修者数に 応じて配置するため(22)		
	66 74 68 室	96 105 97 室	7 室	15 室 53 58 (補助職員57人)	6 室 (補助職員2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数	平成23年4月 専任講師1名を新規採 用のため(23) 平成23年3月 専任准教授1名辞任の ため(23) 平成22年4月 専任助教1名を新規採 用のため(22)		
	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科				11 10 11 10 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学 術 雑 誌 〔うち外国書〕 種	電 子 ジャーナル 〔うち外国書〕	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・視聴覚資料 充実のため(24) 図書・視聴覚資料 充実のため(23) 図書・視聴覚資料 充実のため(22)
	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科	105,363〔19,996〕 110,879〔20,668〕 408,807〔20,353〕 406,952〔20,130〕 (105,363〔19,996〕)	125〔40〕 (125〔40〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	385 565 525 477 (385)	0 (0)	0 (0)	
	計	105,363〔19,996〕 110,879〔20,668〕 408,807〔20,353〕 406,952〔20,130〕 (105,363〔19,996〕)	125〔40〕 (125〔40〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	385 565 525 477 (385)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	9,631.11㎡	897	1,000,000		大学全体			
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,370.7㎡	テニスコート10面、野球場2面、弓道場、アーチェリー場など					大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	積り	教員1人当り研究費等	1,057千円	1,057千円	図書購入費	-千円	2,000千円	2,000千円
		共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	-千円	-千円	-千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,014千円	794千円	794千円	794千円	-千円	-千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注)・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	熊本学園大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
商学部第一部 商学科	4	220		880	学士(商学)	1.11 1.11	昭和29年度	熊本県熊本市 中央区 大江二丁目 5番1号 熊本県熊本市 大江二丁目 5番1号	平成24年度 熊本市政令指定都 市移行に伴う住居 表示変更
経営学科	4	150		600	学士(経営学)	1.12	昭和59年度		
叔ビ'列ティ・マシ'ム学科	4	80		320	学士(経営学)	1.09	平成17年度		
商学部第二部 商学科	4				学士(商学)		昭和29年度		平成19年度より 学生募集停止
経済学部 経済学科	4	200		800	学士(経済学)	1.16 1.23	昭和42年度		
国際経済学科	4	100		420	学士(国際経済学)	1.07	平成2年度		平成21年度定員減 120 100 (20)
リーガルエコノミクス学科	4	80		320	学士(経済学)	1.09	平成18年度		
外国語学部 英米学科	4	115		460	学士(文学)	1.13 1.09	平成6年度		
東アジア学科	4	50		210	学士(文学)	1.23	平成6年度		平成21年度定員減 60 50 (10)
社会福祉学部第一部 社会福祉学科	4	80		340	学士(社会福祉学)	1.10 1.14	平成6年度		平成21年度定員減 100 80 (20)
福祉環境学科	4	80		340	学士(福祉環境学)	0.97	平成12年度		平成21年度定員減 100 80 (20)
子ども家庭福祉学科	4	80		320	学士(社会福祉学)	1.08	平成18年度		
ライフ・ウェルネス学科	4	80		240	学士(社会福祉学)	1.15	平成21年度		
社会福祉学部第二部 社会福祉学科	4	80		340	学士(社会福祉学)	0.51 0.51	平成6年度		平成21年度定員減 100 80 (20)

(注)・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成
年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小泉尚樹	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 倫理とライフ・ウェルネス 外書講読 哲学概論 哲学概論 日本事情 B						
専	教授	宮林達也	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 アダプティッド・スポーツ論 アスリートとウェルネス 生理学(運動生理学を含む) 健康体力づくり論 運動処方 アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習 (ソフトボール) ｽｰｯ指導法実習(スキー) ｽｰｯ指導法実習B 野外部指導法実習(キャンプ) 健康体力づくり実習 ウェルネス・インターンシップ 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)				ｽｰｯ指導法実習(水泳)	履修者増加が予想されるため、担当科目を追加 (21)	
専	教授	北井和利	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 アスリートとウェルネス 運動学(運動方法学を含む) ｽｰｯ指導法実習(水泳) 武道指導法実習(柔道) 武道指導法実習(柔道) ｽｰｯ指導法実習(スキー) ｽｰｯ指導法実習B 野外部指導法実習(キャンプ) ウェルネス・インターンシップ 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)						

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	豊田直二	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 解剖学 外書講読 環境論 A(自然環境) 環境論 B(自然環境) 自然科学と人間 A(生物学) 自然科学と人間 B(生物学)						
専	教授	中野元	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 日本経済とライフ・ウェルネス 経済学 経済原論 経済原論 外書講読						
専	教授	田中節男	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 外書講読 政治学 政治学 日本事情 B						
専	教授	橋本公雄	平成24年4月	ライフ・ウェルネス演習 ウェルネス・プロモーション論 ウェルネス・プロモーション論 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 スポーツ心理学					基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 アスリートとウェルネス ｽｰﾌﾟ指導法実習(水泳) ｽｰﾌﾟ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A 野外活動指導法実習(キャンプ) 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(24)
兼任	講師	橋本公雄	平成22年4月	スポーツ心理学					ウェルネス・プロモーション論 ウェルネス・プロモーション論	平成24年4月 専任教任(24) 平成24年3月 兼任講師聘任(24) 3年次開講科目 につき追加(23)

届出時の計画					変更状況					備考	
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	加藤健一	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 アスリートとウェルネス アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習 (バスケットボール) スポーツ指導法実習(スキー) 水泳指導法実習A 水泳指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)	兼任	講師			水泳指導法実習(水泳)	平成23年3月 本学社会福祉学部 辞任 引き続き兼任講師 として授業を担当 するので支障はない(23) 履修者増加が予想 されるため、担当科 目を追加(21)	
専	准教授	今吉光弘	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習					ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク演習	教育課程の充実 を図るため、担当 科目を追加(23)	
専	講師	井上弘人	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 スポーツ・ウェルネス論 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 アダプティッド・スポーツ論 アスリートとウェルネス レクリエーション概論 スポーツ指導法実習(水泳) アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習(スキー) 水泳指導法実習A 水泳指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 高齢者スポーツ指導法実習 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)							
					専	講師	藤塚千秋	平成23年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 アスリートとウェルネス アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 高齢者スポーツ指導法実習 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)		平成23年4月 新規採用(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
									アダプティッド・スポーツ実技 クリエーション指導法実習A クリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ)	平成23年3月 加藤健一専任准教授 辞任のため担当 科目を追加(23)
					専	助教	石橋剛士	平成22年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門 ライフ・ウェルネス特講 ライフ・ウェルネス演習 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習 ライフ・ウェルネス演習 アスリートとウェルネス スポーツ指導法実習(水泳) 武道指導法実習(柔道) 武道指導法実習(柔道) スポーツ指導法実習(スキー) 健康科学A(講義) 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)	平成22年4月 新規採用(22)
兼任	教授	宮北隆志	平成21年4月	ライフ・ウェルネス入門 生活環境論 地域づくりとバリアフリー 環境論 A(環境と人間社会) 環境論 B(環境と人間社会)						
兼任	教授	豊田謙二	平成21年4月	社会福祉原論 社会福祉原論						
兼任	教授	下地明友	平成22年4月	ライフ・ウェルネス特講 精神保健学 精神保健学						
兼任	教授	井上勝子	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 スポーツ指導法実習(ダンス) スポーツ指導法実習(ダンス) スポーツ指導法実習 (バレーボール) クリエーション指導法実習A キッズスポーツ指導法実習 健康科学B(実技) 健康科学B(実技)	兼任	講師				平成23年3月 本学社会福祉学 部辞任 引き続き兼任講 師として授業を 担当するので支 障はない(23)
兼任	教授	山崎史郎	平成21年4月	心理学 心理学 発達心理学						
兼任	教授	守弘仁志	平成21年4月	社会調査 社会学概論 社会学概論 情報メディア論 情報メディア論						
兼任	教授	小川全夫	平成22年4月	高齢者福祉論 高齢者福祉論						

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	東 俊裕	平成22年4月	障害児・者福祉論 障害児・者福祉論 障害者と法	兼任	講師	金 蘭九	平成22年4月	日本社会福祉史	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
									日本社会福祉史	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
									障害児・者福祉論 障害児・者福祉論	平成22年3月 東俊裕兼任教授就任 辞退のため平成22年度より担当者の変更(22)
									障害者と法	
兼任	教授	良永彌太郎	平成22年4月		兼任	教授		平成22年4月	社会保障論 社会保障論	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
									障害児・者福祉論	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	教授	堀 正嗣	平成23年4月	ソーシャルワーク方法論						
兼任	教授	河野正輝	平成23年4月	社会保障論 社会保障論						
兼任	教授	花田昌宜	平成22年4月	就労支援論 水俣学 ハンセン病講義 社会政策 社会政策 現代の福祉国家						
兼任	教授	大江正昭	平成21年4月	日本国憲法 憲法(統治論) 憲法(人権論) 市民と政治						
兼任	教授	山本尚友	平成21年4月	日本社会福祉史 日本社会福祉史 部落解放論Ⅰ 部落解放論					ハンセン病講義	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)
兼任	教授	大野哲夫	平成22年4月	ハンセン病講義 社会心理学 社会心理学						
兼任	教授	佐藤勇治	平成23年4月	日本事情特講						
兼任	教授	中野裕治	平成23年4月	日本事情特講						
					兼任	教授	奥山文幸	平成23年4月	日本事情特講	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	米岡ジュリ	平成23年4月	日本事情特講	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	教授	赤井恵子	平成21年4月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化 言語と文化						
兼任	教授	尾崎 勇	平成21年4月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化 言語と文化						
兼任	教授	山中 進	平成21年4月	地理学概論 地理学概論 日本事情 A						
兼任	教授	坂口 潮	平成21年4月	自然科学と人間 A(化学) 自然科学と人間 B(化学) 日本事情 A						
兼任	教授	田中 均	平成22年4月	芸術と表現 芸術と表現						
兼任	教授	篠塚敏生	平成22年4月	西洋史概論 西洋史概論	兼任	准教授	岡部造史	平成23年4月		平成23年3月 篠塚敏生兼任講師 辞任のため平成23 年度より担当者の 変更(23)
					兼任	講師				平成23年3月 篠塚敏生兼任講師 辞任(23) 平成22年3月 本学社会福祉学部 辞任 兼任講師となり引 き続き授業を担当 するため支障はな い(23)
兼任	教授	伊藤良高	平成23年4月	現代教育論 現代教育論						
兼任	教授	原田正純	平成23年4月	環境論 A(環境と人間社会) 環境論 B(環境と人間社会)						平成22年3月 原田正純兼任教授 就任辞退 丸山定巳兼任教授 が科目を追加して 担当するため、支障 はない(22)
兼任	教授	西園寺明治	平成21年4月	英語 A 英語 B						
兼任	教授	太田丈太郎	平成21年4月	ロシア語 A ロシア語 B ロシア語 A ロシア語 B ロシア語 A ロシア語 B ロシア語 A ロシア語 B						

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	教授	岡村 一	平成21年4月	スペイン語 A スペイン語 B スペイン語 A スペイン語 B スペイン語 A スペイン語 B					スペイン語 A スペイン語 B	田代カスティヤ兼任講師の就任辞退に伴い、担当科目を追加(21)	
兼任	教授	原口行雄	平成22年4月	英語 A 英語 B							
兼任	教授	木下隆雄	平成22年4月	英語 A 英語 B					英語 A 英語 B	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)	
					兼任	教授	馮 蘊澤	平成23年4月	中国語 A 中国語 B		教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	准教授	黒木邦弘	平成22年4月	ソーシャルワーク方法論 ソーシャルワーク方法論							
兼任	准教授	山西裕美	平成22年4月	家族援助論 家族社会学 家族社会学 社会調査					社会学概論 社会学概論	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24) 教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)	
兼任	准教授	高林秀明	平成21年4月	地域福祉論 地域福祉論 ソーシャルワーク方法論 ボランティア論							
兼任	准教授	高倉統一	平成21年4月	法学 社会福祉法制 社会福祉法制							
兼任	准教授	陳 宇澄	平成22年4月	民法 民法 家族と法							
兼任	准教授	吉津晶子	平成22年4月	芸術療法入門							
兼任	准教授	小城義也	平成23年4月	日本事情特講		教授				平成23年1月1日昇格(23)	
兼任	准教授	筒井久美子	平成23年4月	日本事情特講							
兼任	准教授	Joseph George Tomei	平成23年4月	日本事情特講							
兼任	准教授	土井文博	平成21年4月	日本事情特講 日本事情 A		教授				平成24年4月1日昇格(24)	

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	Kirk Masden	平成23年4月	日本事情特講						
兼任	准教授	相藤絹代	平成22年4月	ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習						
兼任	准教授	和田 要	平成23年4月	ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習		教授			ソーシャルワーク実習指導	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) 平成21年4月1日昇格(22)
兼任	准教授	杉本 学	平成21年4月	部落解放論Ⅰ 部落解放論						
兼任	准教授	川田亮一	平成21年4月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化 言語と文化						
兼任	准教授	隈井泰樹	平成21年4月	自然科学と人間 A(物理学) 自然科学と人間 B(物理学) 日本事情 A						
兼任	准教授	小川弘和	平成22年4月	日本史概論 日本史概論						
兼任	准教授	長友敬一	平成23年4月	倫理学概論 倫理学概論		教授				平成23年4月1日昇格(23)
兼任	准教授	萩原修子	平成23年4月	文化人類学 文化人類学						
兼任	准教授	吉川勝正	平成21年4月	英語 A 英語 B					英語 A 英語 B	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)
兼任	准教授	八木昭臣	平成21年4月	ドイツ語 A ドイツ語 B ドイツ語 A ドイツ語 B ドイツ語 A ドイツ語 B ドイツ語 A ドイツ語 B						
兼任	准教授	佐藤正年	平成21年4月	フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B		教授				平成23年7月1日昇格(24)

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	塩入すみ	平成22年4月	日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
兼任	講師	中村俊也	平成22年4月	ソーシャルワーク論 ソーシャルワーク論 福祉管理運営論		准教授			ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) 平成21年4月1日昇格(2)
兼任	講師	出川聖尚子	平成22年4月	児童福祉論 児童福祉論		准教授			ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) 平成21年4月1日昇格(2)
兼任	講師	中敷領孝能	平成21年4月	統計学						
					兼任	講師	藤本延啓	平成23年4月	地域社会学 地域社会学	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	吉永心一	平成21年4月	日本事情 A						
兼任	講師	上村宏一郎	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 アダプティッド・スポーツ実技						
兼任	講師	玉垣 均	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 リハビリテーション論						
兼任	講師	東 利雄	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論						
兼任	講師	山本行文	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 アダプティッド・スポーツ実技						
兼任	講師	渡辺充伸	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	北野隆雄	平成21年4月	衛生学(公衆衛生学を含む)					栄養学	北野直子兼任講師辞任に伴う担当科目追加(24)
兼任	講師	大森久光	平成21年4月	医学一般	兼任	講師	今村隆寿	平成23年4月	医学一般	平成23年3月 早野恵子兼任講師ならびに杉本啓介兼任講師辞任のため平成23年度より担当者の変更(23)
					兼任	講師	入江 厚	平成23年4月	医学一般	
					兼任	講師	児玉公道	平成23年4月	医学一般	

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	早野恵子	平成22年4月	医学一般	平成23年3月 早野恵子兼任講師 辞任(23) 杉本啓介兼任講師 辞任(23) 平成22年3月 大森久光兼任講師 辞任のため平成22年度 より担当の変更(22)
					兼任	講師	杉本啓介	平成22年4月	医学一般	
兼任	講師	土亀直俊	平成21年4月	医学一般						
兼任	講師	富口静二	平成21年4月	医学一般						
					兼任	講師	森 康司	平成23年4月	社会調査	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(23)
兼任	講師	佐藤正弘	平成22年4月	ヘルスアンドウェルネス						
兼任	講師	丸谷浩介	平成22年4月	公的扶助論	兼任	講師	柴田 滋	平成22年4月		平成22年3月 丸谷浩介兼任講師 就任辞退のため平成22 年度より担当の変 更(22)
兼任	講師	唐津邦利	平成21年4月	測定評価 スポーツ指導法実習 (器械運動) 健康科学B (実技) 健康科学B (実技)						
					兼任	講師	橋本真奈美	平成24年4月	障害児・者福祉論	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(24)
兼任	講師	加来克幸	平成23年4月	医療福祉論						
兼任	講師	福島正剛	平成23年4月	福祉行財政論	兼任	講師	堀端 裕	平成23年4月		平成23年3月 福島正剛兼任講師 就任辞退のため平成 23年度より担当 の変更(23)
兼任	講師	鴻江圭子	平成23年4月	福祉管理運営論						
兼任	講師	砂川真澄	平成23年4月	司法福祉論						
兼任	講師	紫藤千子	平成23年4月	権利擁護と成年後見制度						
兼任	講師	熊川嘉一郎	平成23年4月	就労支援論						

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	高木昭宏	平成23年4月	救急処置と運動負荷試験	兼任	講師	原田栄作	平成23年4月		平成23年3月 高木昭宏兼任講師就任 辞退のため平成23年度 より担当者の変更(23)
兼任	講師	原 三郎	平成23年4月	救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	北野直子	平成23年4月	栄養学						平成24年3月 自己都合により兼任講 師辞任。後任は北野隆 雄兼任講師(24)
兼任	講師	古賀由紀子	平成23年4月	学校保健						
兼任	講師	磯谷明德	平成21年4月	経済学	兼任	講師	平方裕久	平成24年4月		磯谷明德兼任講師辞任 のため担当者の変更 (24)
兼任	講師	小野真理子	平成21年4月	手話 手話 手話 手話						
兼任	講師	松永 朗	平成21年4月	手話 手話 手話 手話						
兼任	講師	森岡秀幸	平成21年4月	点字 点字						
兼任	講師	松野了二	平成21年4月	情報処理入門						
					兼任	講師	中西直樹	平成22年4月	日本社会福祉史	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(22)
兼任	講師	鈴木桂樹	平成23年4月	現代行政論						
兼任	講師	平野裕二	平成23年4月	国際福祉論						
兼任	講師	奥山幸男	平成21年4月	スポーツ指導法実習 (陸上競技) スポーツ指導法実習 (陸上競技)					健康科学B 健康科学B	教育課程の充実 を図るため、担当 科目を追加(22)
兼任	講師	田中邦子	平成22年4月	レクリエーション指導法実習A						
					兼任	講師	梶原宏之	平成24年4月	地理学概論 地理学概論	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(24)
					兼任	講師	八田茂樹	平成22年4月	地理学概論 地理学概論	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
									水俣学	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	丸山定巳	平成23年4月	地域社会学 地域社会学	兼任	教授			環境論 A(環境と人間社会) 環境論 B(環境と人間社会)	平成22年4月 本学社会福祉学部に就任(22) 平成22年3月 原田正純兼任教授 就任辞退のため担当 科目を追加(22)
					兼任	講師	田島幸治	平成23年4月	自然科学と人間 A(化学) 自然科学と人間 B(化学) 日本事情 A	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(23)
兼任	講師	小園敏幸	平成21年4月	英語 A 英語 B						
兼任	講師	山田章則	平成21年4月	英語 A 英語 B						
					兼任	講師	西川盛雄	平成23年4月	英語 A 英語 B	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(23)
					兼任	講師	安浪誠祐	平成23年4月	英語 A 英語 B	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(23)
					兼任	講師	Warren Gehl	平成24年4月	英語 A 英語 B	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(24)
					兼任	講師	Benjamin Fogel	平成24年4月	英語 A 英語 B	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(24)
					兼任	講師	Michael James Rupp	平成24年4月	英語 A 英語 B	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(24)
					兼任	講師	Tournat Todd	平成24年4月	英語 A 英語 B	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加(24)
兼任	講師	大熊敏子	平成21年4月	フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B						
兼任	講師	濱田 明	平成21年4月	フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B						

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Ferrero Yves Pierre	平成21年4月	フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B フランス語 A フランス語 B						
兼任	講師	堀江智子	平成21年4月	中国語 A 中国語 B 中国語 A 中国語 B					中国語 A 中国語 B	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(23)
兼任	講師	伊禮智香子	平成21年4月	中国語 A 中国語 B 中国語 A 中国語 B						
					兼任	講師	山田里香	平成24年4月	中国語 A 中国語 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
兼任	講師	田代クリスティナ	平成21年4月	スペイン語 A スペイン語 B						就任辞退(21) 岡村一兼任教授が科目を追加して担当するため、支障はない
兼任	講師	朴 永奎	平成21年4月	韓国語 A 韓国語 B 韓国語 A 韓国語 B	兼任 兼任	講師 准教授				平成22年3月 本学外国語学部辞任 引き続き授業を担当するので支障はない(22) 本学外国語学部に就任(21)
兼任	講師	佐々木正徳	平成21年4月	韓国語 A 韓国語 B	兼任	講師	入江友佳子	平成22年4月	韓国語 A 韓国語 B	松岡雄大兼任講師辞任のため担当者の変更(22)
					兼任	講師	松岡雄大	平成21年4月	韓国語 A 韓国語 B	平成22年3月 松岡雄大兼任講師辞任 就任辞退(21)
兼任	講師	田中節子	平成22年4月	韓国語 A 韓国語 B						
					兼任	講師	浦川登久恵	平成23年4月	韓国語 A 韓国語 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	則元志郎	平成21年4月	健康科学B (実技) 健康科学B (実技)						
兼任	講師	馬場良二	平成21年4月	日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B						
兼任	講師	松本妙子	平成21年4月	日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B					日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	中村直美	平成24年4月	日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	船本日佳里	平成24年4月	日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	跡上裕子	平成24年4月	日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
兼任	講師	牧野洋一	平成21年4月	日本事情 A						平成22年3月 牧野洋一兼任講師辞任 山中進兼任教授が科目を追加して担当するため、 支障はない(22)
兼任	講師	Jeffry Joseph Gayman	平成21年4月	日本事情 B						
兼任	講師	浦本裕之	平成21年4月	日本事情 B						
					兼任	講師	畑中 寛	平成24年4月	日本事情 A 日本事情 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	大田千波留	平成24年4月	日本事情 A 日本事情 B	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、学部 学科 の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	2	1	0	10	0	7	1	2	1	11	0	
(6)	(2)	(1)	(0)	(9)	(0)	[0]	[1]	[1]	[1]	[1]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
8	准教授	加藤健一	一身上の都合

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

加藤健一専任准教授には辞任後も兼任講師として一部の科目を引き続き担当してもらおう。また藤塚千秋専任講師を後任として新規採用し、石橋剛士専任助教も科目を追加して担当するため支障はないと考えている。
学生へは、時間割表およびシラバスにおいて交代担当者を周知している。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画																									
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし																											
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	・経済学部経済学科の入学定員超過の是正に努めること	<p>入学定員超過の是正に努めた結果、平均入学定員超過率は前年度の1.31倍から1.25倍へと改善した。</p> <p><経済学部経済学科></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員超過率</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>200</td> <td>253</td> <td>1.26</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>200</td> <td>265</td> <td>1.32</td> <td>1.29</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>200</td> <td>277</td> <td>1.38</td> <td>1.31</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>200</td> <td>212</td> <td>1.06</td> <td>1.25</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率	H20	200	253	1.26	1.26	H21	200	265	1.32	1.29	H22	200	277	1.38	1.31	H23	200	212	1.06	1.25	
	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率																							
H20	200	253	1.26	1.26																								
H21	200	265	1.32	1.29																								
H22	200	277	1.38	1.31																								
H23	200	212	1.06	1.25																								
・社会福祉学部第二部社会福祉学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること	<p>平均入学定員超過率は前年度の0.68倍から0.63倍へととなった。</p> <p><社会福祉学部第二部社会福祉学科></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員超過率</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>100</td> <td>49</td> <td>0.49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>80</td> <td>31</td> <td>0.38</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>80</td> <td>55</td> <td>0.68</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>80</td> <td>51</td> <td>0.63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率	H20	100	49	0.49	0.49	H21	80	31	0.38	0.38	H22	80	55	0.68	0.68	H23	80	51	0.63	0.63	この結果を学部でも真摯に受け止め、学生募集においても基準となる0.7倍を充足するよう、大学入試センター試験を利用する試験を追加し、入学機会の拡大をはかると共に、地元高校、社会人への需要の掘り起しにも努めていきたい。	
年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率																								
H20	100	49	0.49	0.49																								
H21	80	31	0.38	0.38																								
H22	80	55	0.68	0.68																								
H23	80	51	0.63	0.63																								
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	・社会福祉学部第二部社会福祉学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること	<p>平均入学定員超過率は前年度の0.63倍から0.37倍へととなった。</p> <p><社会福祉学部第二部社会福祉学科></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員超過率</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>80</td> <td>31</td> <td>0.38</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>80</td> <td>55</td> <td>0.68</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>80</td> <td>51</td> <td>0.63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>0.37</td> <td>0.37</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率	H21	80	31	0.38	0.38	H22	80	55	0.68	0.68	H23	80	51	0.63	0.63	H24	80	30	0.37	0.37	新たに導入した大学入試センター試験利用がまだ十分に周知できておらず、入学者数の増加に繋がらなかった。第一部志向が強いため、次年度は入試の動向を見極めながら、入学定員の見直しについても検討を開始したい。
年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率																								
H21	80	31	0.38	0.38																								
H22	80	55	0.68	0.68																								
H23	80	51	0.63	0.63																								
H24	80	30	0.37	0.37																								

(注)・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。

- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

< 社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科 >

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<p>教員組織の編成（届出時）</p> <p>専任教員： 10名 兼任教員： <u>49名</u> 兼任教員： <u>55名</u></p>	<p>記載誤りにより修正</p> <p>専任教員： 10名 兼任教員： <u>55名</u> 兼任教員： <u>49名</u></p> <p>平成 21 年度の修正</p> <p>専任教員： 10名 兼任教員： <u>56名</u> 兼任教員： <u>47名</u></p> <p>さらに、平成 22 年度は専任助教の新規採用および授業科目担当教員の変更等により次のとおりとなる。</p> <p>専任教員： <u>11名</u> 兼任教員： <u>56名</u> 兼任教員： <u>50名</u></p> <p>さらに、平成 23 年度は専任准教授の退職に伴う専任講師の新規採用および授業科目担当教員の変更等により次のとおりとなる。</p> <p>専任教員： <u>11名</u> 兼任教員： <u>59名</u> 兼任教員： <u>58名</u></p> <p>さらに、平成 24 年度は授業科目担当教員の追加変更等により次のとおりとなる。</p> <p>専任教員： <u>11名</u> 兼任教員： <u>59名</u> 兼任教員： <u>69名</u></p>
<p>学生確保の見通し（入学者の選考）</p> <p>入学定員 80 名の内訳は、一般入試 40 名、推薦入試 40 名とする。</p> <p>一般入試（40 名）</p> <p>一般入試においては、高等学校卒業・卒業見込者であれば受験できる。受験者の学力を見極めることを目的として、国語、選択科目、外国語の試験を実施する。</p> <p>推薦入試（40 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校制による推薦入試（25 名） 書類審査と小論文で総合的に評価する。 ・公募制による<u>推薦入試（5 名）</u> 書類審査と小論文、英語（筆記）による選抜試験を実施する。 ・スポーツ推薦入試（<u>10 名</u>） 書類審査と面接、<u>スポーツ・テスト</u>を実施する。 	<p>平成 22 年度以降の学生募集について、推薦入試を次のとおり変更する。（報告済み）</p> <p>平成 22 年度入試も以下の要領で実施した。 平成 23 年度入試も以下の要領で実施した。</p> <p>推薦入試（40 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校制による推薦入試（25 名） 書類審査と小論文で総合的に評価する。 ・公募制による一般推薦入試（5 名） 書類審査と小論文、英語（筆記）による選抜試験を実施する。 ・<u>公募制による自己推薦入試（5 名）</u> <u>書類審査と面接を実施する。</u> ・スポーツ推薦入試（5 名） 書類審査と面接を実施する。 <p>平成 24 年度以降の学生募集について、推薦入試より「<u>公募制による自己推薦入試（5 名）</u>」を廃止し、<u>AO入試を追加する。</u></p> <p><u>AO入試（5 名）</u> <u>課題レポートを含む書類審査と面接を実施する。</u></p>

- (注)・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な取り組みとして、熊本学園大学FD委員会を設置（平成20年2月）＜別紙規程を参照＞
ライフ・ウェルネス学科準備会議（平成20年11月～平成21年3月）
ライフ・ウェルネス学科会議（平成21年4月）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年に数回開催している。ほぼ全員が参加
本学科開設までに数回開催した。構成メンバー全員が毎回出席した。
本学科所属の専任教員全員が出席し、毎月1～2回開催している。完成年度を迎えるにあたって、これまでの状況を振り返りカリキュラムの点検を開始した。また、単位取得状況等全学生の現状を再確認し、学科所属専任教員全員による指導強化を図っている。

c 委員会の審議事項等

ライフ・ウェルネス学科会議における審議事項
・授業方法の検討
・オムニバス授業における教員の連携
・フィールド学習の実施および教育効果について
・資格等に関わる専門家の導入について
・導入教育としての基礎演習のあり方について

実施状況

a 実施内容

現時点で実施している取り組みは次のとおりである。
授業方法についての研究
オムニバス授業における教員の連携
授業評価アンケート

b 実施方法

授業方法についての研究
学科会議において「基礎演習」「ライフ・ウェルネス入門」「ライフ・ウェルネス特講」の授業の進め方について、特別講演者の選定、基礎演習およびフィールド学習における情報収集・整理法、学生によるフィールド報告書の作成方法、成績の評価方法等を議題として取り上げ、参加者の自由討議により、より効果的な教育方法を継続的に協議した。
オムニバス授業における教員の連携
学科会議において、オムニバス授業をいかに展開すべきかについて、参加者の自由討議に基づいて協議している。ゲスト講義を実施する場合は、かならず学部のメーリングリストに広告し、オムニバス授業を担当する教員の参観・聴講を促すようにしている。
授業評価アンケート
本学の「授業評価制度委員会」の指示に従い、アンケートによる「学生による授業評価」を、開講中のすべての講義科目について実施した。平成24年度は秋学期の実施を予定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

、 、 はいずれも授業科目担当者全員が対象である。すべての項目について、全員参加型の会議で協議しており、教員の参加状況はおおむね良好である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業改善のための具体的な取り組みは、開講授業の結果状況を踏まえて、随時実施していきたい。
・個人の担当する授業についても、授業の内容や方法を改善し、よりよい授業を実現するための方策について、本格的なFD等の委員会でも検討していきたい。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年実施している。平成23年度は春学期後半の2週間（6月25日（土）～7月8日（金））で実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、毎回、報告書を配布している。また、当該担当科目の教員には、各科目の集計結果及び自由記述欄も配布している。学生には、特に公開していない。

(注)・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1)平成23年度に実施された「ライフ・ウェルネス入門」では、新入生全員を対象とした合宿研修を実施し、その中で青少年育成事業等に関する現場の指導者の講演等を聞きディスカッションを行っている。

2)平成23年度の「ライフ・ウェルネス特講」では、過疎地域のスポーツ・健康づくりフィールドと、熊本市における都市生活者のスポーツ・健康づくりフィールドとにわかれて授業を実施した。前者では熊本県山鹿市並びに植木町に出向き、県北地域でのスポーツ・健康づくりの体験学習を実施した。後者では、本学体育館を利用して、日本フロアーホッケー協会の協力のもと住民参加型イベントを実施した。いずれも中人数規模のフィールドワークを含み、当初の計画通り授業を遂行することができた。

3)「健康・体力づくり事業財団」より養成校の認定を受けている「健康運動指導士受験資格」については、熊本市の有資格者を招いて話を聞く機会を設けるなどして、学生への周知をはかっている。

4)入試については、前年度までの反省を踏まえ、A0入試を実施し、多様な学生のニーズに対応することができ、今年度は、適正な規模の入学人数を獲得することができた。この結果を踏まえて、来年度以降についても適正な規模の入学人数を維持するよう努力を続けていく。

5)今年度で完成年度を迎えるが、これまでの導入部教育の実施に際しては、常に学科の教員全体で計画を検討し、授業評価や反省会をおこなった。学科FDについては十分な成果があったと思われる。

以上、新学科の設置趣旨・目的達成状況を振り返ると、大過なく順調に進行してきたと評価している。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成21年3月27日公表

b 公表方法

・大学ホームページ
・評価報告書

認証評価を受ける計画

本学は、平成17年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。さらに、平成21年3月12日付けで、財団法人大学基準協会の定める「大学基準に適合している」との認定を受けた。

(認定期間：平成21年4月1日から平成28年3月31日まで)

次に認証評価を受ける時期及び評価機関については、今後、学内で検討する。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 24 年 9 月 1 日)